

病院躯体の設計は屋上ヘリポートの素材選びから始まる時代です。

「アルミデッキ高い
ヘリポートは高い」は

嘘!

実際に建物を設計し、

鉄骨材料費を比較してみました!

ヘリポート素材の違いで躯体構造部材にこんなに差が出ます。

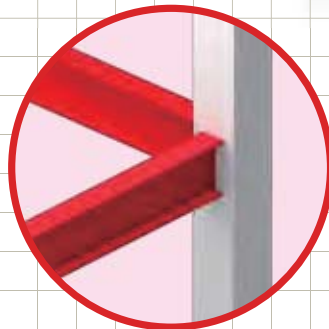
アルミデッキの場合

デッキが軽い



鉄骨材料費が
安い!

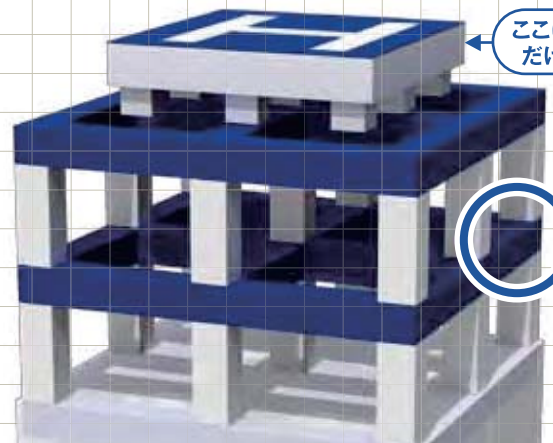
躯体の梁が細くて済むなど
鋼材量が少ない



鉄骨梁・柱
計 **1,269t**

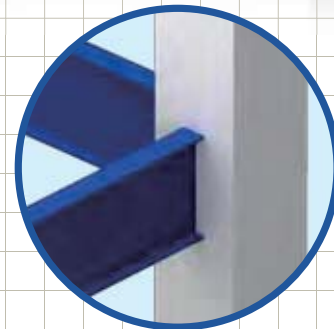
コンクリートデッキの場合

デッキが重い



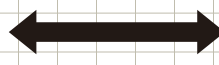
鉄骨材料費が
高い!

躯体の梁を太くしなければならないなど
鋼材量が多くなる



鉄骨梁・柱
計 **1,353t**

84tの差



鉄骨材料費はアルミデッキの方が安い!

さらにライフサイクルコストで **決定的に!!**

「アルミ」vs「コンクリート」デッキで、

【条件】…●構造:S造(鉄骨造)8階建(反復利用ヘリポート) ●用途:病院 ●建築面積:1,410㎡ ●延床面積:11,450㎡ ●高さ:39m ●ヘリポート大きさ:21m×21m

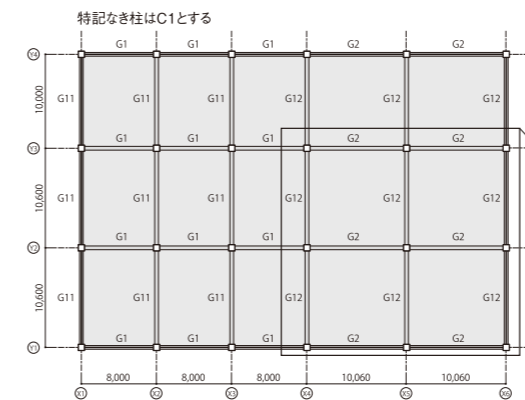
実際にコスト計算をしてみました!!

	アルミデッキ ヘリポート	コンクリートデッキ ヘリポート
▶ヘリポート床部	4,950万円	1,980万円
▶構造部材	アルミ床が 軽いから 38,070万円	40,590万円
▶小計	43,020 万円	42,570 万円
<p>注目:ここまでは、確かに少しアルミが高く見えるが…</p>		
▶メンテナンス費用	0万円	600万円 (10年毎3回)
▶解体時費用	アルミ材売却益 - 500万円	産廃処理費 350万円
▶合計	42,520 万円	43,520 万円

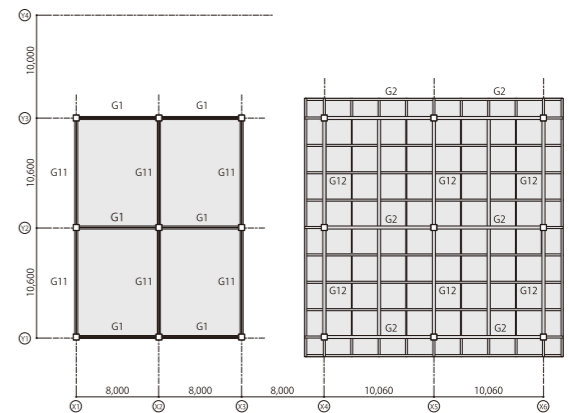
【結果】ライフサイクルコストは
アルミデッキヘリポートの方が、1,000万円安くなる!!

実際に建物を設計してみました!!

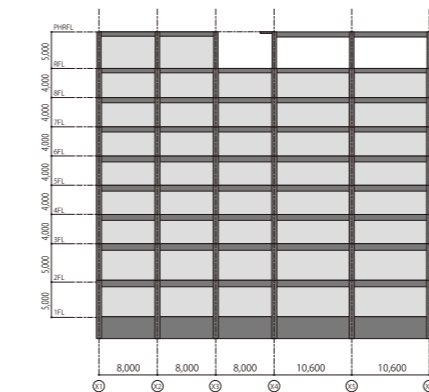
■各階平面図(1階~8階)



■ヘリポート階平面図



■立面図



ヘリポートがアルミデッキの場合の仮定断面

■柱断面	■大梁断面			
C1・C2	G1	G2	G11	G12
PHF □-600x600x25	PHRFL H-588x300x12x20	H-700x300x13-24	H-588x300x12x20	H-700x300x13-24
8F □-700x700x25	RFL H-588x300x12-20	H-600x300x12-25	H-600x300x12-25	H-600x300x12-25
7F □-700x700x25	8FL H-700x300x13-24	H-700x300x13-24	H-700x300x12x25	H-700x300x14x28
6F □-700x700x25	7FL H-700x300x12-25	H-700x300x14x28	H-700x300x14x28	H-700x300x14x32
5F □-700x700x28	6FL H-800x350x14-25	H-800x350x14x28	H-800x350x14x28	H-800x350x16x32
4F □-700x700x28	5FL H-800x350x14-28	H-800x350x14-28	H-800x350x14-28	H-800x350x16x32
3F □-700x700x32	4FL H-800x400x16x28	H-800x400x16x32	H-800x400x16x32	H-800x400x16x32
2F □-700x700x32	3FL H-900x400x19x28	H-900x400x19x32	H-900x400x19x32	H-900x400x19x32
1F □-700x700x32	2FL H-900x400x19x28	H-900x400x19x32	H-900x400x19x28	H-900x400x19x32

材質 柱:BCP325、大梁:S M490

ヘリポートがコンクリートデッキの場合の仮定断面

■柱断面	■大梁断面			
C1 C2	G1	G2	G11	G12
PHF □-600x600x25 □-700x700x25	PHRFL H-588x300x12x20	H-900x350x16-32	H-588x300x12x20	H-900x350x16-28
8F □-700x700x25 □-700x700x25	RFL H-800x300x14-26	H-800x300x16-36	H-800x300x14-26	H-800x300x16-36
7F □-700x700x25 □-700x700x25	8FL H-700x300x12-25	H-700x300x12-25	H-700x300x12x25	H-700x300x14x32
6F □-700x700x25 □-700x700x25	7FL H-700x300x14-32	H-700x300x14-32	H-700x300x14x32	H-700x350x14x32
5F □-700x700x28 □-700x700x28	6FL H-800x350x16-32	H-800x350x14x28	H-800x350x14x28	H-800x350x16x36
4F □-700x700x28 □-700x700x28	5FL H-800x350x16-32	H-800x350x16-32	H-800x350x16-32	H-800x350x16x36
3F □-700x700x32 □-700x700x32	4FL H-800x400x16x28	H-800x400x16x32	H-800x400x16x32	H-800x400x16x36
2F □-700x700x32 □-700x700x32	3FL H-900x400x19x32	H-900x400x19x32	H-900x400x19x32	H-900x400x19x36
1F □-700x700x36 □-700x700x36	2FL H-900x400x19x32	H-900x400x19x32	H-900x400x19x28	H-900x400x19x36

材質 柱:BCP325、大梁:S M490

アルミデッキの優位性はほかにもたくさん! [最終ページへ](#)

《安心・安全・安定の品質》

🔧 表面劣化が少なくメンテナンスが簡単

ヘリコプターの着陸による衝撃荷重でコンクリートデッキは簡単にクラックが入り、生じたコンクリート片がダウンウォッシュで吹き飛ばされて起こる事故があります。アルミデッキは欠ける心配もなく表面のメンテナンスはフリーです。

🏠 崩壊事故の心配がない

コンクリートデッキはヘリコプターの繰り返し離着陸により、簡単に防水層が破れるため頻繁な防水層の補修が必要です。防水層が破れコンクリート内に水分が浸透すると鉄筋はやがて錆を生じ、体積が数倍に膨れ、コンクリートが破裂する鉄筋爆裂が起きてコンクリートの崩壊に繋がります。

📦 ヘリポートに関わる全てをパッケージで納める

エアロファシリティのヘリポートはコンサルタント、電気・建築設計、付帯設備の購入、施工、全てを一括で造ります。このため複雑な発注形態でも統一されたデザインの美しいヘリポートを廉価で建設することができます。

🕒 天候に左右されない短い工期

基本的にすべてが工場生産品のプレハブ物であるため、現場施工は組み立てるだけ。塗装工事以外は大きく天候に左右される心配はありません。計画通りの工程で作業が進みます。

🌊 平坦で水溜まりができないため事故リスクが低い

アルミデッキはすべて工場で生産されるため、組立によって歪みや不陸が生じません。コンクリートデッキは現場合わせによるところが大きく必ず不陸が生じるので、スリップやホワイトアウトの原因になる水溜まりができます。

🏢 嵩上げ着陸帯によるビル風対策が簡単

ICAO(国際民間航空機関)では屋上ヘリポートのビル風対策として、屋上から一段高い面に着陸帯を設けることを推奨しています。コンクリートデッキヘリポートでは屋上面への直降り設計が目立ちますが、ビル風とヘリのダウンウォッシュによる乱気流が発生するため非常に危険です。

《エアロファシリティのアルミデッキヘリポートは全国各地で採用されています》



南相馬市立総合病院



米盛病院



奈良県立医科大学附属病院



佐賀病院



大分大学医学部附属病院



熊本労災病院

